【実践事例８】　　1-1「言語活動」 ニュース　No.20

「ことばの学習教室」

～豊かなことば、豊かなコミュニケーション～

国語　総合（ことば）

・実施日　　令和２年１０月１１日（日）
・実施校　　寺島中学校　１年（１３５名選択）
・講　師　　NHK 放送研修センター　日本語センター　加藤　昌男 氏
・内　容　　〈今日の学習〉
　　●　使えることばをたくさん持とう
　　●「場面」と「相手」を考えて話そう

【生徒の感想文から】
・今日学んだ言葉の学習を自分の将来、ふだんの生活、学校生活などに生かしていきたいです。
・日本語の「とる」という漢字は自分自身が思っていた以上にあるんだということ分かりました。日本語で一言「とって」と言ってもうまく相手に伝わらない可能性があると言うことも分かりました。
・日本語には、非常に細かい事がたくさんあることが分かりました。例えば、一本、二本、三本などでは、それぞれ言い方がちがうことなど、物の数え方などにも違いがあるので驚きました。挨拶のことについても学びましたので、これからも挨拶をすることを大切にしていきたいです。
・私は国語が苦手なので授業についていけるか心配でした。けれどとても楽しく取り組むことができ、よかったです。心に残ったことは、「とる」の２文字にたくさんの漢字があり、漢字が変わるたびにまるで別人のように意味が変わることがとてもおもしろかったです。時間が経つにつれどんどん興味深くなり国語を苦手➡得意にしたいと思いました。
・自分達が何気なく言っていたり、行っていることの意味を知ることができて良かったです。考える場を設けて初めて気づいたことや、学べたことがあったので、良い機会になりました。自分の母国語である日本語には色々な使い分けがあるということを知れたので、自分でも日本語のことについて調べてみようと思いました。
・ぼくは新しく知ったことがたくさんあります。１つ目は起承転結の転を工夫することで全体がおもしろくなること。２つ目は「とる」という１つの行動でも漢字になおしたら違う意味になること。３つ目はふだん使っているあいさつの「こんばんは」の「は」がなんで「わ」ではないのかの理由を知りました。今回の授業を通して使えることばをたくさんふやす、場面と相手を考えて話すことが大事だと思い、これから会話の中に少しずつ取り入れたいなぁと思いました。
・今回の授業を通して改めて、まだまだ知らないことが沢山あることに気が付きました。「あいさつ」だけでもいろいろな表現のしかたがあることが分かりました。これから今日学んだことを生かして、特にあいさつする時に意味を考えながら日々過ごしていきたいと思います。